



香港株式市場フラッシュ

RCEP 発効で躍進が期待される中国物流企業

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

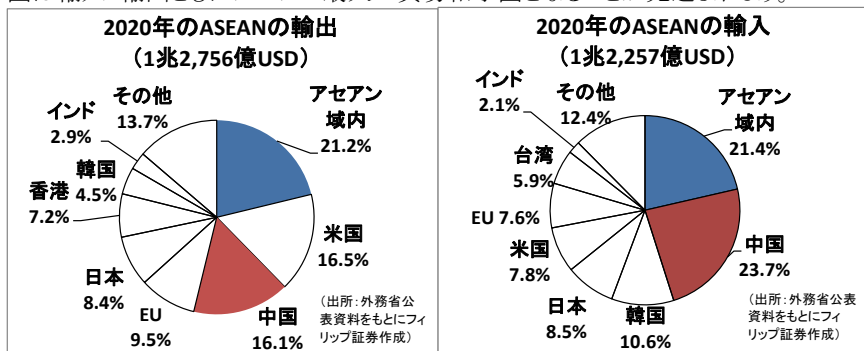
フィリップ証券株式会社

2022年1月12日号(1月12日作成)

“RCEP発効で中国とアセアンの貿易拡大へ”

2022年元旦に日本、中国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、タイ、ベトナム、ブルネイ、カンボジア、ラオスの10カ国間で「地域的な包括的経済連携協定」(RCEP)が発効した。2/1には韓国でも発効予定であるほか、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ミャンマーを加えて15カ国の参加が見込まれている。参加国全体のGDPおよび人口ともに世界の約3割を占めている。

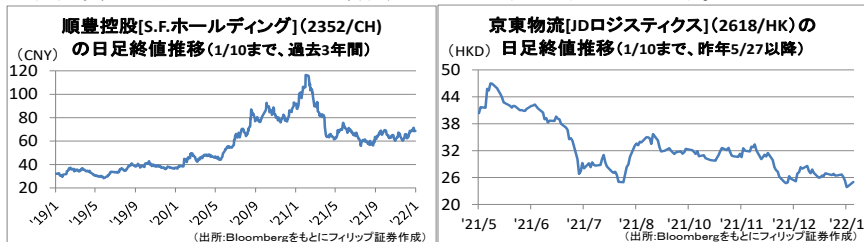
アセアン10カ国は既に2015年末より関税撤廃のほか、各国の貿易関連手続きを統合する一元的システム(アセアン・シング・ウインドウ)の構築などサービスや投資自由化を目指してアセアン経済共同体(AEC)を発足させ、域内貿易が活発化。そのようななか、中国は2020年にアセアン域内輸入を超えてアセアン最大の輸入相手国となっていた一方で、アセアンからの輸出ではアセアン域内、米国に次いで第3位の輸出相手国だった。RCEPの発効により中国とアセアン間の貿易増加が見込まれ、中国は輸入・輸出ともにアセアン最大の貿易相手国となることが見込まれよう。



“中国とアセアンの越境EC拡大を支える中国物流企業”

中国は習近平国家主席の「一帯一路」構想の下、既に西部の重慶市や成都市を中心に、欧州との間では鉄道輸送の「中欧班列」を整備。アセアンとの間では高速道路を続々と完成させたほか、将来的にシンガポールまで続く鉄道を計画中だ。また、広西チワン族自治区の南寧市や雲南省の昆明市はベトナムのハノイ経済圏との連携を進めている。中国とアセアンとの間は、ハブ空港間の空路のほか、たとえば重慶市からタイのバンコクまで4日(96時間)の陸上輸送で済ませられるなど、物流の整備が急速に進められている。

中国とアセアン間のライブビデオ配信による越境Eコマースが急成長するなか、ライブEコマースで売れたモノの国境を跨ぐ動きを中国の物流企業が支えている。中国の物流業界はEコマースの普及に伴いアリババ傘下の物流企業が過半を占めるようになったが、専門物流業者として中国最大の企業である順豊控股[S.F.ホールディング](2352/深セン市場)は、2021年6月末時点で中国335都市に進出し、約2万1千カ所の直営拠点を開設。国際宅配サービスも手掛け、米国、EU、日本など78カ国・地域をカバーしている。また、中国のネット通販大手JDドットコムの子会社である京東物流[JDロジスティクス](2618/HK)はテクノロジーを駆使したスマート倉庫が注目される。順豊控股の2021年1-9月期は、売上高が前年同期比24%増、純利益が同68%減。京東物流の2021年1-6月期は、売上高が同54%増、Non-GAAPの調整後純利益が赤字転落。足元では先端技術への投資や物流網拡張など成長に伴う先行投資費用が嵩んでいるものの、成長ポテンシャルが見込まれよう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全85銘柄)における終値の2021年末来騰落率

順位	銘柄名	昨年末終値比騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位
1	汽車之家 (Autohome)	24.2	-
2	中国海外発展 [チャイナ・オーバーシーズランド&インベスト]	23.8	-
3	龍湖集団[ロンフォー・グループHldg]	12.4	-
4	中国生物製薬 [シノ・バイオファーマシューティカル]	11.9	-
5	華潤置地 [チャイナ・リソース・ランド]	11.7	-
6	Kuaishou Technology(快手)	11.7	-
7	HSBCホールディングス	10.8	-
8	中国銀行(香港) [BOCホンコン]	10.2	-
9	石薬集団 (CPSC Pharmaceutical Group)	9.2	-
10	中国建設銀行 [チャイナ・コンストラクション]	8.5	-

順位	銘柄名	昨年末終値比騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位
85	ビリビリ	-12.4	-
84	華潤ビール[チャイナ・リソース・ビール]	-12.1	-
83	吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS]	-11.3	-
82	華虹半導体[ファオン・セミコンダクター]	-11.0	-
81	李寧[リーニン]	-10.8	-
80	舜宇光学科技(集団)[サニー・オプティカル・テクノロジー]	-10.6	-
79	比亞迪 [BYD]	-9.5	-
78	創科実業[テクトロニック・インダストリーズ]	-8.1	-
77	Meituan (美团)	-7.7	-
76	安踏体育用品 [アンタ・スポーツ・プロダクツ]	-7.7	-

【2021年12月-2022年1月の中国経済指標】

- 12月27日(月)
 - ・11月工業企業利益<前年同月比>: 前回+24.6%、結果+9.6%
- 12月31日(金)
 - ・12月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.1、結果50.3
 - ・12月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回52.3、結果52.7
- 1月4日(火)
 - ・12月財新製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.9、結果50.9
- 1月6日(木)
 - ・12月財新サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回52.1、結果53.1
- 1月7日(金)
 - ・12月外貨準備高: 前回3.222兆USD、結果3.250兆USD
- 1月11日(火)-15日(土)
 - ・12月資金調達総額: 前回2.61兆元
 - ・12月新規人民元建て融資: 前回1.27兆元
 - ・12月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.5%
- 1月12日(水)
 - ・12月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+2.3%、結果+1.5%
 - ・12月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+12.9%、結果+10.3%
- 1月14日(金)
 - ・12月貿易収支: 前回+717.2億USD
- 1月15日(土)
 - ・12月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.33%
- 1月17日(月)
 - ・12月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.9%
 - ・12月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+3.8%
 - ・1-12月固定資産投資<前年同期比>: 前回+5.2%
 - ・1-12月不動産投資<前年同期比>: 前回+6.0%
- 1月20日(木)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.80%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.65%



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。